

# Europe Indicators

発表日: 2023年1月18日(水)

## 欧州経済指標コメント: 12月英国労働統計

～求人意欲に翳りも、賃上げ圧力は強い～

第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

- 17日に発表された英国の労働統計では、労働力調査ベースの失業率が昨年11月までの3ヶ月平均で3.7%と前月(3.7%)から不変。8月の3.5%から僅かに上昇したが、コロナ危機以前の水準を下回っている。11月単月では3.48%と同一サンプルの8月(3.49%)からほぼ不変。12月値が3.77%以下の場合(同一サンプルの9月は3.80%)、来月の失業率は再び低下する。
- 9～11月の失業者は3ヶ月前対比で5万6千人増加したが、依然としてコロナ危機前のピークを52万9千人下回っている。長期療養者など労働市場からの退出者の増加が失業率の上昇抑制につながっている。10～12月の求人情数は3ヶ月前対比で7万5千人減少。12月のPMIの雇用判断が22ヶ月振りに改善/悪化の分岐点である50割れを記録するなど、各種のサーベイ調査でも企業の求人意欲にやや翳りがみられる。
- 全産業の賞与を含む時間当たり賃金は、11月までの3ヶ月平均で前年比+6.4%と、前月の同+6.2%から一段と加速。上昇加速を牽引したのは賞与を除く賃金。9～11月の賃金は同+6.4%と前月の同+6.1%から加速した。これまでのところ、民間部門の賃金の伸びが同+7%台と公的部門の同+3%台を大きく上回っているが、昨年12月以降、生活費高騰を受けて賃上げを求めるストライキが頻発しており、今後は公的部門の賃上げも一段と加速する公算が大きい。

### ■英国: 失業率



注: 労働力調査基準は3ヶ月移動平均 出所: 英国統計局

### ■英国: 週当たり賃金・賞与(全産業、前年比)



注: 実線は3ヶ月移動平均値 出所: 英国統計局

### ■英国の失業給付・平均賃金

	2022											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
失業率(失業給付、%)	4.6	4.4	4.2	4.1	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	3.9	4.0
失業給付件数(前月差、千人)	-55	-58	-82	-66	-35	-27	-15	1	4	-6	16	20
失業率(労働力調査、%)	4.0	3.8	3.7	3.8	3.8	3.8	3.6	3.5	3.6	3.7	3.7	—
(単月の失業率、%)	3.83	3.85	3.46	4.12	3.75	3.52	3.52	3.49	3.80	3.70	3.48	—
就業者数(3ヶ月前差、千人)	-53	5	65	177	297	160	39	-109	-53	27	27	—
週当たり賃金(産業計、前年比、%)	4.8	5.6	7.0	6.9	6.4	5.2	5.5	6.1	6.0	6.2	6.4	—
賃金	3.8	4.1	4.2	4.2	4.4	4.7	5.2	5.5	5.8	6.1	6.4	—
ボーナス	18.9	26.5	29.4	30.1	15.8	11.3	9.7	16.6	9.7	6.7	5.4	—

注: 労働力調査基準の失業率、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所: 英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

